

**響** 金田中を大谷康子さんが訪問  
き合う心の合唱と世界レベルの演奏

東京交響楽団コンサートマスターの大谷康子さんとピアニストの永田郁代さんが、2月26日に金田中を訪問しました。一昨年に花束を渡した生徒と大谷さんの舞台裏での話がきっかけで実現した鑑賞会。2年生の歓迎の合唱に感動した大谷さんは、その気持ちを演奏で表現し「奏者の心が伝わる」ことを教えながら、世界トップレベルの音色でお返ししました。



↑日本を代表するバイオリニスト・大谷康子さんの演奏、吹奏楽部との共演も実現。

↓利用者のかたにお茶を手渡す茶道の山本先生。互いに感謝の心を通わせました。



福智園ひなまつりお茶会  
**お** 茶と菜の花の香りで春を感じた

3月3日のひなまつりにあわせ、特別養護老人ホーム福智園でお茶会が催されました。これは茶道の山本先生を招き、目の前でたてたお茶をみんなでいただくという今回初めての試みです。会場にはひな人形のほか、菜の花を入れた竹筒などが品良く飾られ、職員も和装で対応。お茶会の雰囲気により一層高まり、利用者約80人も大満足した様子でした。

**冬** 町内で季節はずれの積雪  
惜しむ3月のなごり雪

菜の花で黄色く染まった河川敷につくしが顔を出し、すっかり春めいていた福智町に、3月10日、再び強い寒気が訪れました。厳しい冷え込みとなったこの日は、日中の最高気温が平年の同時期より10度ほど低い4度前後と、冬の最も寒い時期を下回るほどに。平地でも一日中吹雪に見舞われ、上野や弁城などの一部地域では2～3cmの積雪が見られました。



↑3月にしては珍しく真っ白に雪化粧した福智山と、河川敷の菜の花。(3月11日)

↓たくさんの思いをかみしめながら、大合唱で締めくくった方城中学校の卒業式。



町内3中学校で卒業式  
**思** い出を胸に新たな旅立ち231人

共に支え合い、歩んできた仲間との最後の学校行事である卒業式が、3月11日に町内の3中学校でそれぞれ行われました。この日、9年間の義務教育を修了したのは231人。長いようで短かった学校生活を振り返り答辞を述べた卒業生は、保護者や恩師からの盛大な拍手に見送られ、卒業の喜びと期待を胸に、思い出深い学舎に涙の別れを告げました。

↓対戦相手のジェットローラーの行方も気になるカラーリング。親睦を深めながら競い合いました。



第4回 福智町カラーリング大会  
**一** 点めがけて一心一投

町体育協会主催の福智町カラーリング大会が、3月7日に金田体育館で開催されました。事前に行われた地区予選には115チーム(赤池45、金田46、方城24)が参加。3世代で気軽に楽しめることが人気を集め、初開催以来年々参加が増え続けています。予選を勝ち抜いた強豪36チームの決勝トーナメントとあって、会場内のいたる所で白熱した試合が繰り広げられました。結果は次のとおりです。優勝:ナイターリーグC(金田)、準優勝:宝珠A(方城)、3位:本城チーム(赤池)、4位:神崎1ダンディ(金田)

日王の湯リニューアルオープン  
**ま** すます快適になった日王の湯

平成14年の創業以来、みなさんの憩いの空間として定着している「ふるさと交流館日王の湯」が、3月10日に改装オープンしました。電気風呂や泡風呂が楽しめるようになったほか、サウナの扉の二重化や、掛け湯設備を新設。工事のため約3週間ぶりの営業となった当日の朝、新しくなった癒しの場を待ち望む客が、開店時間前から列をつくっていました。



↑今月号に折り込まれているチラシを持参すると50円割引されます(6月末まで)。

↑今は5cm程の稚魚が大きく成長する姿を期待し、笑顔で見送った生徒たち。



4 河川清掃・サケの稚魚放流  
年後のふるさとでの再会を夢見て

赤池中1年生やひこさんがわ夢の会など約130人によるサケの稚魚千匹の放流が、3月6日に市場小横の河川敷で行われました。これはサケが遡上してくる川を目指して続けられている取り組みで、今年で8回目。参加者たちは、国交省職員の説明や河川敷の清掃などをとおして川の環境を学んだ後、美しい川にしようと胸に誓いながら、優しく放流していました。